

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ぼとす		
○保護者評価実施期間	令和8年1月20日		～ 令和8年2月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	9
○従業者評価実施期間	令和8年1月20日		～ 令和8年2月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 多機能型であり、児童発達支援～放課後等デイサービス移行時にも環境を変えることなく通所することができる。 同事業所内である為、職員内での情報共有がしやすく、継続した支援を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の性格特性、有効な声掛けの仕方、関わり方をカンファレンスの場を通じて共有している。 上手く行かなかったことに関しても、話し合い、改善を図るようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文献なども用い、根拠を持った支援を行っているよう、事業所内研修を充実させていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 職員の職業の幅が広く(前職含む)、様々な目線からの支援内容の提案ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝のカンファレンスで活動内容を支援員同士で共有し、活動の狙いが適切であるか、年齢や児童の必要とする支援となっているかの話し合いができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記。
3	<ul style="list-style-type: none"> 普通学級・支援学級・通級・支援学校に通っている児童が一緒に過ごすことができ、児童同士がお互いの性格・特性・環境について知ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各児童の特性に合わせた人員配置をしたうえで、考えられる状況も共有し、同じ活動に参加することができるよう努めている。 屋外活動を通し、公共の場での過ごし方や、様々な刺激を受けることで、成長に繋げていけるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋外活動の際には事前に活動内容や注意点の説明を行うようにしているが、児童ごとに理解力にも差があるため、ここに再度確認する時間を作るなどの取り組みを続けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 年齢の幅が広い事、性格特性が多岐にわたる為、児童に合わせた活動内容の検討と人員配置が多く必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 多機能型として運営している為、想定されることと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在もフリーの職員の配置をしており、必要時には支援に入れるようにしている。それぞれの職員が声を掛け合い、児童が落ち着いて活動が行えるよう配慮を続けていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 職員の知識量に幅がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 前職が様々であり、療育現場に対する知識不足がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が研修に参加する配置調整を行っている。研修後には事業所内研修でフィードバックしている。 カンファレンスの場で支援内容を共有し、活動の狙いを明確にするように心がける。必要な配慮、注意を向けるべきことなど、不足している情報について、職員同士でごまめに提供していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所ぼとす

公表日 令和8年2月27日

利用児童数 12

回収数 9

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9				・集団活動や、個別活動を取り入れており、運動活動（屋外活動）も多く、地域との交流も出来ていると思う。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9				・定期的な面談もあり、相談しやすい。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1			・活動内容によっては参加できないこともあるが、個別対応していただいている。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1		2	・他事業所児童との交流はある。	地域の公園などでの交流はある。今後、他事業所との活動を計画中です。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		2	3	4	面談の時に、情報提供はしてもらっている。	現在までは個人情報保護の観点から開催しておりませんが、来年度から定期的に開催していく予定としております
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9				・定期的な面談と、送迎時の情報交換・共有ができていると思う。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9				15に記載。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4			・保護者会の開催はない。 ・保護者会はないが、ハロウィンイベントなどで交流はすることができている。	14に記載
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9				・相談ごとに対して、初期対応としてSMSで対応していただいたり、その後早い時期で面談を組んでいただくなどの対応をしてくれている。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9				・支度カードや、忘れ物チェックなどの目から情報を入れる為のツールなどの提供を受けている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9				・毎月のお便り・SNSでの発信で子どもの様子を見ることができる。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9				・非常時の連絡体制についてのお知らせや連絡をもらっている。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9				・定期的に避難訓練がされている。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9				・早い段階で連絡をもらっている。 ・送迎時に状況も含めた説明を受けている。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9					
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所 ほとす				公表日	令和8年 2 月 27 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・活動スペースと学習スペースを分けて配置している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・支援員と別にフリーの職員を配置し、状況に応じて対応に他入れるようにしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・清掃は毎日行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・半個室になる場所を作っており、児童の希望により使用することができるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・定期的なカンファレンスを行い、支援員が全員参加できるようにしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・6に記載。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・6に記載。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・事業所外の研修に全員が参加する機会があり、事業所内へのフィードバックの場も設けられている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・定期的な面談、送迎時の保護者との対話の場を作り、ニーズの把握をした上で個別支援計画書に反映している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・モニタリング後の事業所会議の開催や、定期的なカンファレンスを利用し全職員の意見を取り入れている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・13に記載。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・適宜ツールの見直しを行いながら実施している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・6に記載 ・活動内容について、各支援員が提案し、活動の狙いも含め共有することができている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝のカンファレンスを行い、共有と役割の分担を話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援後には振り返りを行う時間を設けており、上手く行かなかったことの要因を話し合い改善案の共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援記録はその日のうちに記入する事にしており、全員が閲覧し共有できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的な面談を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・活動を児童に決めてもらう機会を設けたり、コミュトレを通し、気持ちの言語化が出来るよう支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・実際に支援に入る機会の多い職員が参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・関係機関連携の機会を設けている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・定期的な関係連携の機会を作っていたき、共有している。 ・学校参観に伺い、学校での様子も共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・就学時には連携を行っている。	・学年が上がってくると、連携の機会が減ってくる為、定期的な関わりを続けていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・現在、対象となる児童がない為行っていない。	・今後対象児童がいる際には、適切な情報提供を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・必要に応じ、電話連絡にて相談をするなどしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・屋外活動（地域の公園など）で交流は持つことができている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		・積極的に参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・定期的な面談と、保護者からの相談があった際には別で面談の機会を作るなどし、共通理解への支援を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・保護者会としては開催はないが、面談時に情報提供は行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・34に記載。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・34に記載。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会の開催はないが、ハロウィンイベントなどを通し、交流の機会を作っている。	・今後、定期的な保護者会を開催していく予定。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月のぼとす通信発行と、SNSでの発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・毎年ハロウィンイベントを開催し、地域の方も広く参加できるようにしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・面談の際にお話しし、避難訓練の際には、実際に保護者の方へ連絡を入れる事へのご協力をいただいている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・様々な状況を想定した避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・児童の疾病の共有を行い、注意すべきことを話し合っている。 ・定期内服については薬情を提出頂き、効果および副作用についても共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・通所契約時に確認し、変更があった際にもご連絡いただくように伝えている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・事業所外での研修に全職員が参加できるように配置調整を行い、研修後に事業所内でフィードバックしている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・49に記載	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・発生時には速やかに記載し、カンファレンスで共有や対策・改善点につき話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・50に記載。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・個別支援計画説明時に説明を行っている。		